

語る夢大地21 談・談・トーク

夢のある白根市農業を語る

竹内正市長 VS. 白根市農業経営研究会

積極的な農業経営を目指す白根市農業経営研究会のメンバーが、八月三十日、市長と語り合う「談・談・トーク」を開催。白根市農業の夢や将来、そして問題点を語り合いました。その模様を紹介します。

やる気のある農家が白根にはたくさんいる。そういつた動きが新しい白根市の個性に：(市長)

司会 今年には記録的な冷夏で農作物への影響が大変心配されます。経営研究会では安定した農業経営を目指し、市に貢献できる経営者としての将来を目指しています。今日のテーマは「夢のある白根市農業を語る」ということで、これからの農業について、存分に語り合ってくださいと思います。

市長 農業は白根市の中核産業です。農業の活性化が市の今後を左右するといっても良いでしょう。市の個性も、それによって作られていくのではないかと思います。

先日、全国に先駆けて農業法人会が組織されました。やる気のある農家が白根にはたくさんいることを、改めて認識しました。そういった動きが新しい白根市の個性につながっていくと思います。

T 私共は組合組織を作って約二十年、法人化して今年で二年目です。稲作と花木が主です。花木はいろいろ考えながらやると、面白いものだと



白根市農業経営研究会

昭和51年設立。積極的な農業経営を展開する中核農業者のグループ。新しい栽培技術などに絶えずチャレンジし、国内外の視察研修など、積極的に活動している。伊藤建一会長、会員28人。

語る夢大地21 談・談・トーク

市民と市長との対話集会。21世紀に向けて白根市を夢いっぱいの大地にするために、白根市のまちづくりや未来、希望を語り合う場。今年度から実施され、9月10日現在で8団体が開催した。

農業を人が交流できる要素に。他産業に協力するくらいの意識改革も必要では：(市長)

とします。お陰様で順調に売り上げも伸びてきました。今後は若い後継者が喜んでやれるものになりたいと考えております。

N 稲作、麦、大豆、キノコで周年農業という形を取っています。当面の目標はそのまま今の経営を伸ばし、せがれが私の姿を見ながら自主的に跡を継いでくれるような農業を目指しています。

Y 経営は稲作中心に七、八年前からキノコ栽培も取り入れています。私自身は生産組織でやるのか、個人農業でやるのかということで若干の迷いがありました。しかし今日、伊藤農場さんを見学させてもらい、これだけあればやれるんだという自信が満ちあふれてくるような気持ちになりました。感無量と言いますが、白根市農業ここにありという、そんな気持ちでいっぱいです。

O 稲、養豚、野菜をやっています。今年の決算は恐ろしくいろいろ落ち込みになるでしょう。その一つは畜産物価格の急落です。今年はず肉の関税引き下げの最終年で、予想していたとはいえず、こんなにほかの畜産物の価格まで下げるとは思いませんでした。豚肉は二十年前の価格まで戻り、世界で一番安い肉になっ

てきています。今年は大赤字になるのは間違いないようです。

市長 都市部の小学校では学校の近くで農業体験ができない。小学校の生活科という科目は体験学習が主ですが、都会では協力が難しくなっている。そこで、例えば新潟市の子供たちが白根に来て、白根の農業の現場を勉強し、それを新潟市で宣伝してくれる。そうすれば農業は人が交流できる要素になります。

単純に「農地を守る」というだけでなく、自発的に周囲の経済界の人が人集めを提言する。それに対して農家も「あらゆる産業に利用できるのなら、みんなで協力してやってみよう」というくらいの意識改革も必要なのではないでしょうか。

これまでの農業振興は、自分の経営を数値として把握している人も、そうでない人も一律に進めてきた。だから、なかなか一つの形になれなかったのではないのでしょうか。新農政プランも一つの方向ではあります。実際には自分の経営の把握が先なのではないかと思われま

農業が、まちとしての魅力の要素であることに間違いはありません。それをいかに活用するかなのです。

I 近年都市化の波が少しずつ押



都市化が進み、農業を続けていくためには、いろいろな問題も：(研究会)

し寄せ、それに伴っていろいろな問題が起きなければいけません。騒音など環境問題のほか、農業を専業でやる以上、世代交代に伴う相続の問題があります。規模が大きくなればなるほど、税の問題などが出てくるでしょう。

市としては、農業、商業、工業とバランス良く発展し、宅地も増え、人口も増え、税収も多くなっていくのは理屈の上では分かります。しかし、農業を続けていくこととすると、開発が進むにつれ、難しい面が出てくるのではないのでしょうか。

市長 そうなんです。これからは集落がコミュニティとして、うまく機能するためのエリアを定めるといふ発想も必要だと思います。それは都市サイドの施設整備などと整合しないと駄目だと思わ

農業基盤の整備などについても明確な将来性がないと、工事した数年後に埋め立てられてしまうというようなことになる。地域の皆さんが将来的な展望についてビジョンを持つことが、農村部サイドでも必要な時期にきているのではないのでしょうか。

O 今までの農業振興の方策が経

(次ページへ)